

管内の近年の出水状況 及び完了事業について

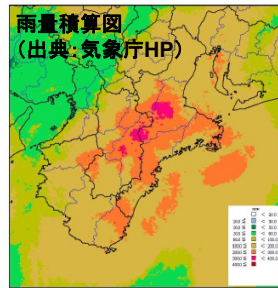
平成25年1月17日

近年の鈴鹿川・雲出川・櫛田川・宮川での出水状況

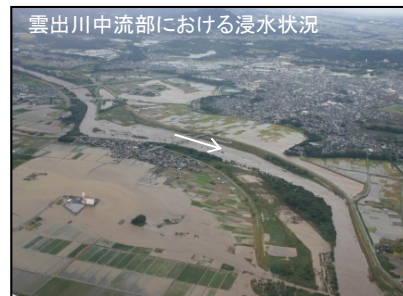
近年大規模の出水が頻発 **総雨量1,000mm以上の大雨**、**時間雨量80mm程度規模**が発生

平成21年度

- ・台風17号により、三重県内では1時間に70mmを超える**猛烈な雨**を観測し、雲出川・櫛田川では**総雨量が300mmを超過**。
- ・雲出川支川**波瀬川**では**計画高水位を超える出水**となり、本川は無堤部からはん濫により**浸水被害**が発生。

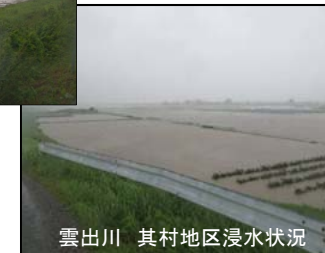
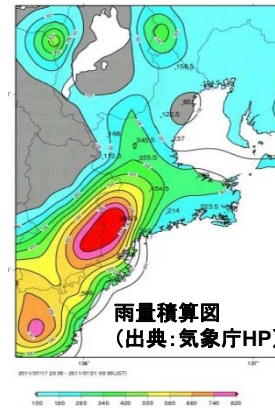


解析雨量積算図 (10月7日09時~10月8日09時、単位: mm)



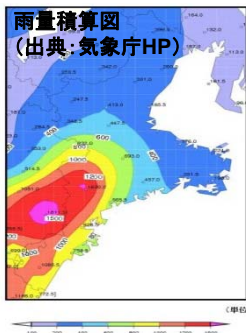
平成23年度①

- ・台風6号により7月19日から20日までの2日間の総雨量が宮川流域の多い所で**約1,000mmを超える大雨**を記録。



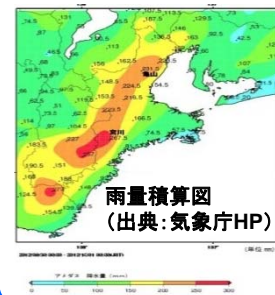
平成23年度②

- ・台風12号(8/30~9/5)にかけた5日間の総雨量で宮川流域では**1,500mm以上の大雨**を記録。
- ・宮川水系では**宮川で計画高水位を超える出水**となり、内外水はん濫により**浸水被害**が発生。



平成24年度

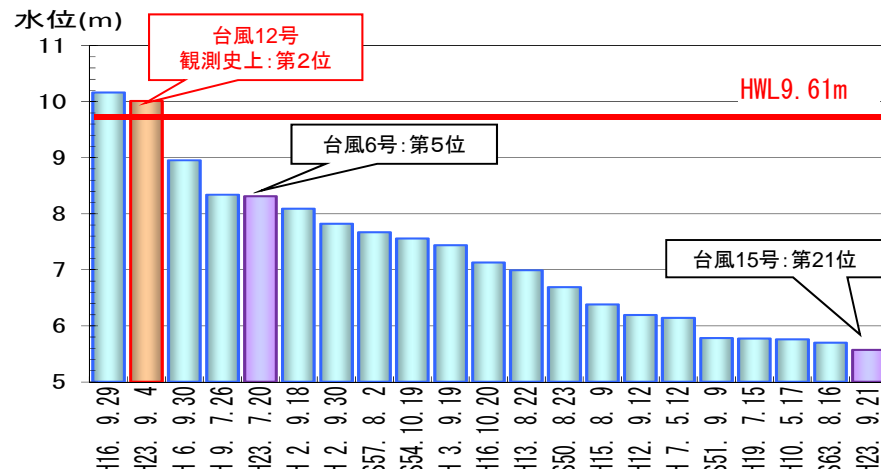
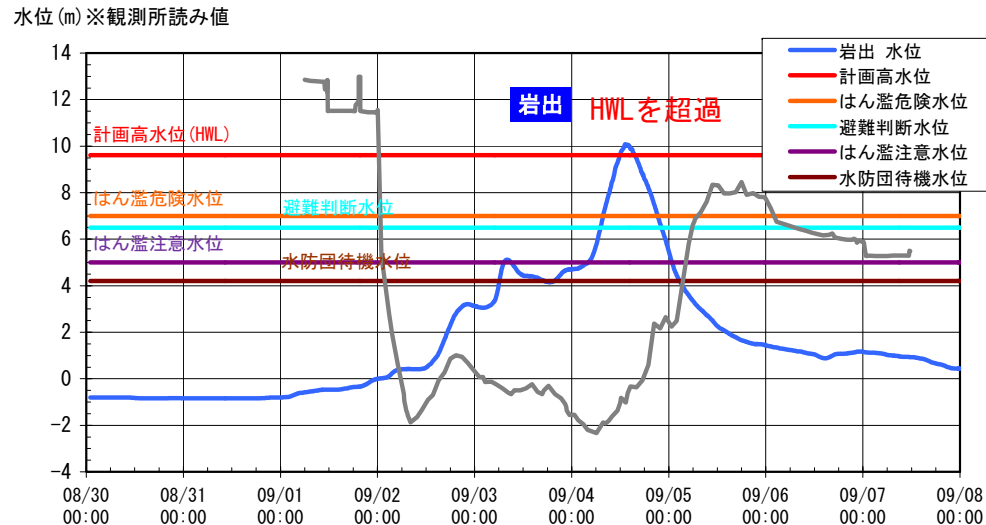
- ・台風17号により三重県内では、1時間に80mmを超える**猛烈な雨**を観測し、**総雨量は約250mmであったが、ほとんどの雨は13~18時の6時間に集中**。
- ・雲出川支川**波瀬川**は**計画高水位を超過**。鈴鹿川では、はん濫危険水位を超え、内外水はん濫により**浸水被害**が発生。



【H23.9台風12号】宮川出水概要（宮川）

- 台風12号の接近に伴い宮川流域においては、降り始めからの総降雨量(8/30:20:00~9/5:12:00まで)が、大台町宮川(気象台)で1630.0 mmを観測し、記録的な降雨となった。
- 宮川の岩出基準地点では計画高水位を約3時間半にわたって超過し、ピーク水位は観測史上第2位となる10.01m(観測所読み値:9/4:14:00)を記録。
- 無堤部(整備予定箇所を含む)からの外水はん濫や支川流末での内水はん濫により家屋浸水や道路冠水などの被害が発生。

宮川 岩出基準地点における水位状況



過去の代表洪水のピーク水位ランキング(岩出:S50観測開始)

台風12号による被害状況

- 【7.2k右岸】堤防漏水
- 【中島地区】・無堤部の溢水による家屋浸水
- 【辻久留地区】・内水による田畑冠水
- 【小田古川流末】・内水による道路冠水、田畑冠水
- 【佐八地区】・無堤部の溢水による家屋浸水、道路冠水、田畑冠水
- 【大倉川流末】・内水による家屋浸水、道路冠水、田畑冠水
- 【亀谷郡川流末】・内水による家屋浸水、道路冠水、田畑冠水

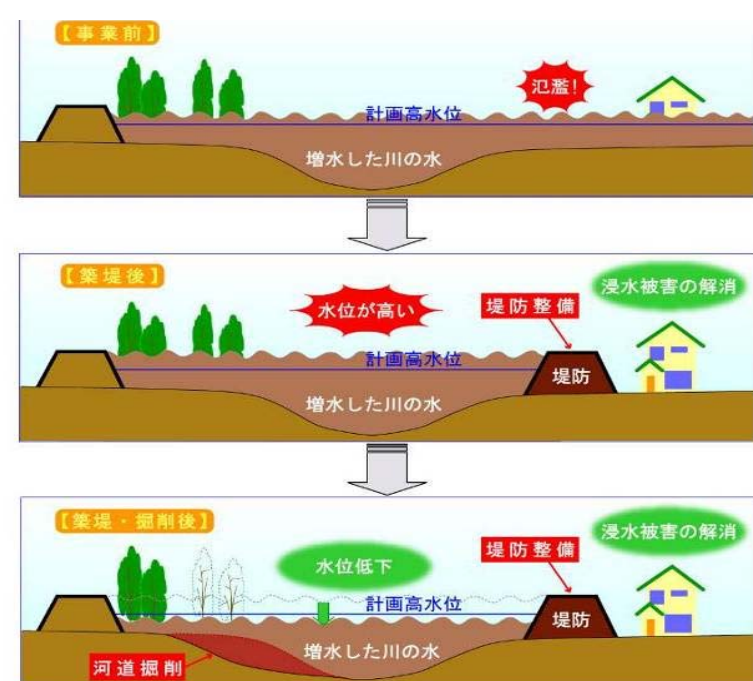
宮川床上浸水対策特別緊急事業（H23年度完成）

- 平成16年9月台風21号洪水、平成6年9月台風26号洪水による氾濫により、中島・大倉地区(右岸7.2k~10.4k)は家屋浸水等の被害が発生した。
- 再度同様な洪水が発生した場合における洪水の安全な流下と床上浸水被害の解消を図るべく、平成18年度より、当該地区を対象に堤防整備(延長:約3,500m、樋管・樋門9箇所)や河道掘削(掘削土量:約57万m³)等の治水対策を集中的に実施し、平成23年度に完成した。

完成後の状況(平成24年5月撮影)



事業実施イメージ



施工前後の状況：伊勢市辻久留町8.0k付近



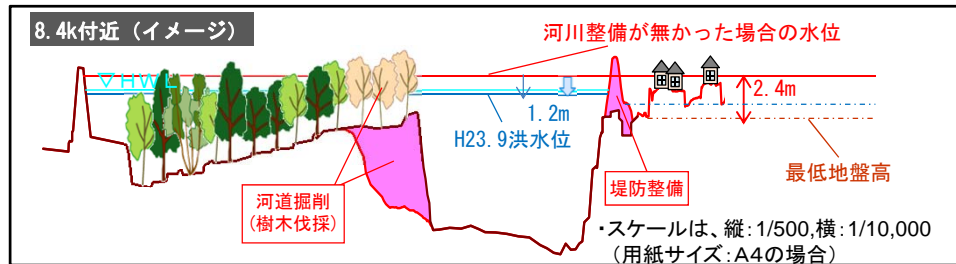
【H23.9台風12号】もし河川整備(床上事業)がなかったら・・・(宮川)

○平成23年台風12号では、宮川流域は総雨量が1,500mmを越える記録的な大雨となり、**宮川【度会橋】地点ではH16.9台風21号洪水を約1,000m³/s 上回る規模(1.13倍)の洪水となった。**
 ○平成16年9月台風21号による洪水を契機に、宮川の度会橋より上流では「堤防整備」や「河道掘削」を集中的に実施した効果によって、河川のはん濫による被害は大幅に軽減された。もし河川整備が実施されていなかったら……

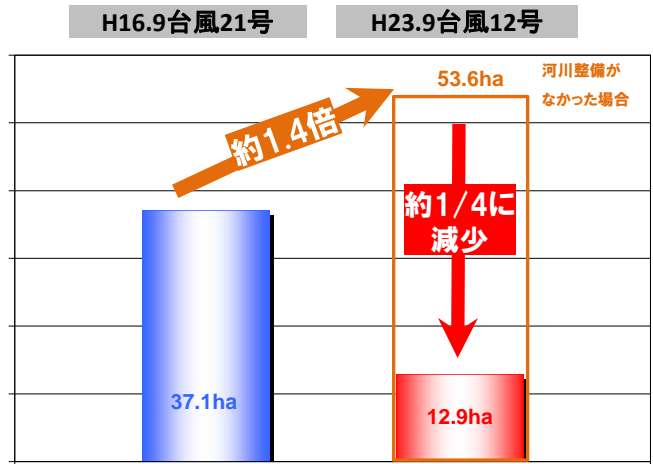
H23.9洪水浸水被害範囲比較



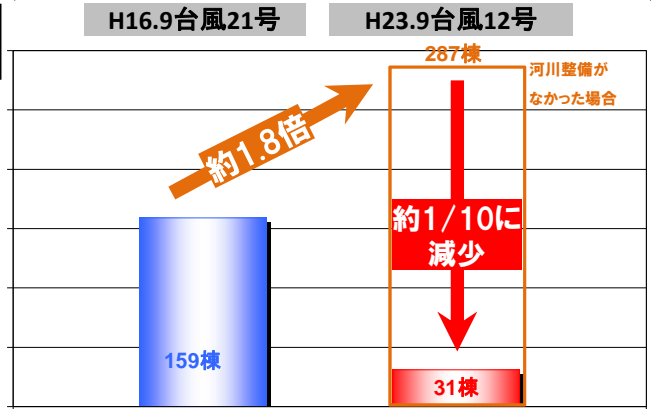
※河川整備が無かった場合はH16.9洪水が発生した時の河川の状況(河川整備無)でH23.9洪水が発生した場合を想定したものです。



浸水面積比較 (右岸7.2~10.4K区間)



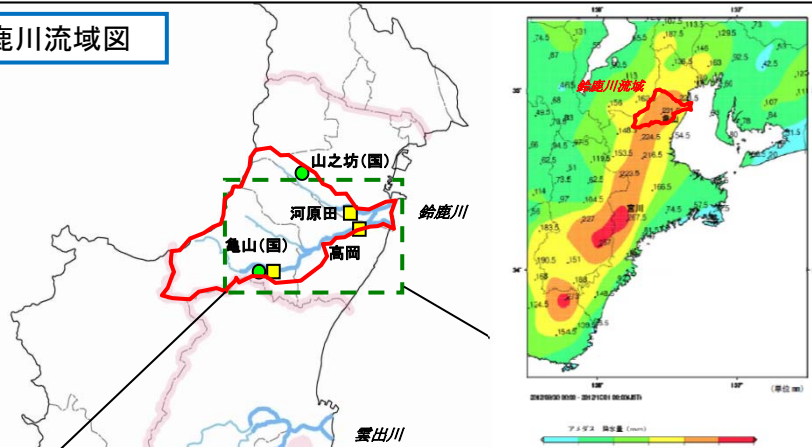
浸水戸数比較 (右岸7.2~10.4K区間)



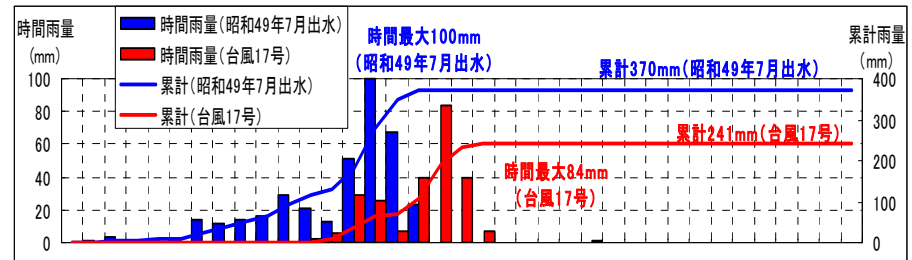
【H24.9台風17号】鈴鹿川出水概要（鈴鹿川）

- 台風17号は、9/30:13:00～18:00の6時間で200mmを越える集中降雨となり、鈴鹿川流域では亀山観測所で時間最大雨量80mmを超える激しい雨をもたらし、鈴鹿川の水位が急激に上昇し、高岡水位観測所ではS49以来となるはん濫危険水位を越え、亀山水位観測所においては既往最高水位(S49.7)に、あと9cmに迫る水位上昇となった。
- 鈴鹿川本川では支川への逆流や溢水によるはん濫により浸水被害が発生。（家屋被害無）

鈴鹿川流域図



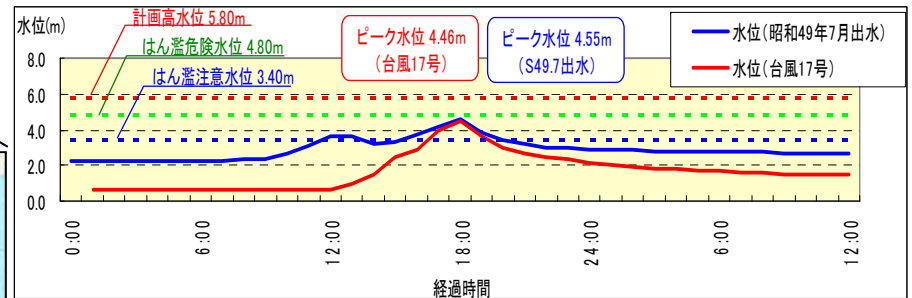
亀山雨量観測所(鈴鹿川水系)【国土交通省】



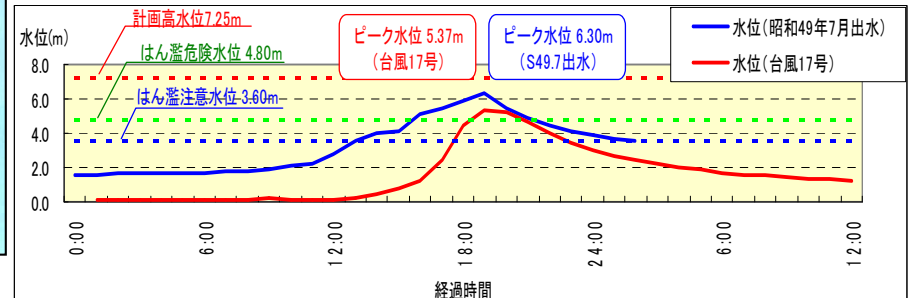
鈴鹿川出水状況



亀山水位観測所(鈴鹿川)



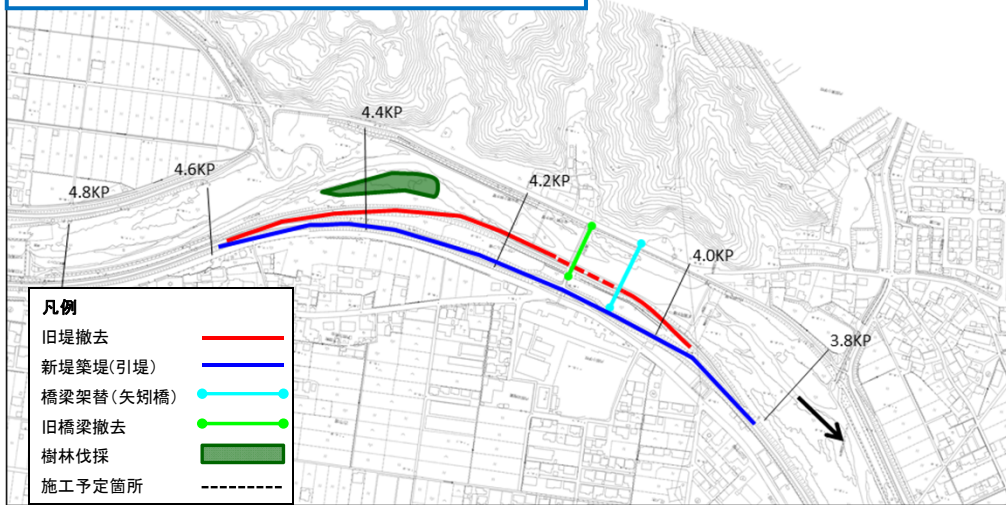
高岡水位観測所(鈴鹿川)



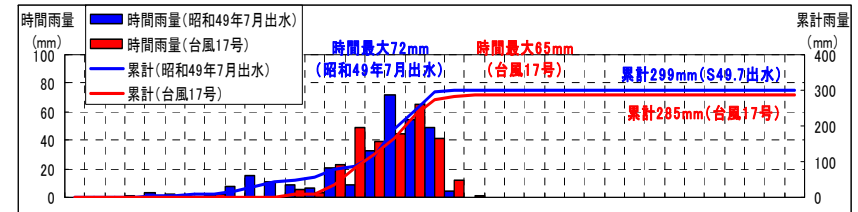
【H24.9台風17号】内部川河川整備事業効果(鈴鹿川)

- 鈴鹿川支川内部川は、昭和49年7月洪水時に計画高水位を越え、破堤はん濫による甚大な被害を受けたことから、下流部を重点に新堤築堤(引堤)・旧堤撤去等を進めており、平成20年から矢矧橋(やはぎばし)付近の改修を重点に進めている。
- 昭和49年7月洪水と同等規模となった今回の洪水においては、**最大で約1.1m(内部川4.2K:暫定値)の水位低下が図られた**と考えられる。

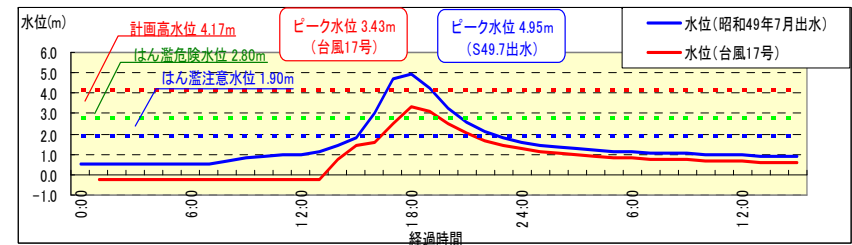
内部川: 矢矧橋付近整備状況 (H23年度末)



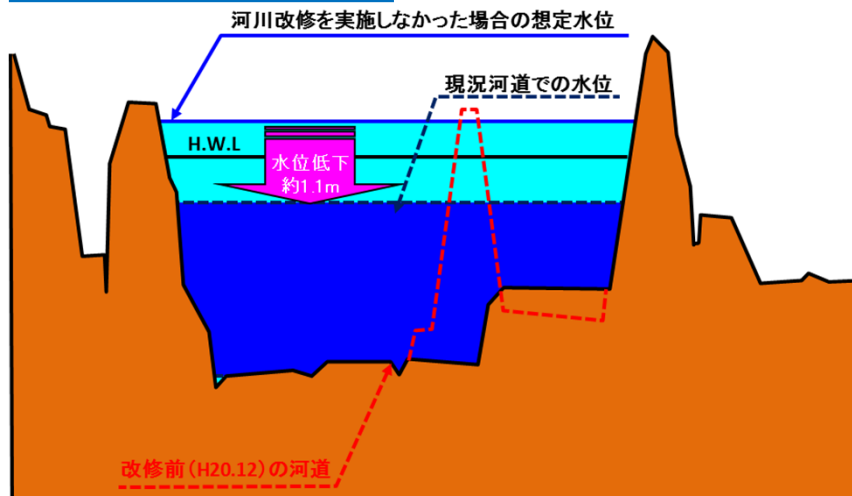
山之坊雨量観測所(鈴鹿川水系)【国土交通省】



河原田水位観測所(内部川)



整備による水位低下効果



内部川出水状況



※記載の水位は速報値であり、今後変更の可能性があります。 6